

沿革

- 2010年** カンボジアの村の子ども達に教育支援を行うために任意団体「すろまい・こ〜ん」を発足。
*カンボジア語で「すろまい」は「夢」、「こ〜ん」は「子ども」
- 2011年** シェムリアップ孤児院センターにて、知的に障がいのある「ビスナーン」との出会いから、障がい児支援を開始。
- 2012年** 3月から「カンボジアの村に小学校建設プロジェクト」を開始。通学時の交通事故撲滅を目的として、コムルー村に小学校の分校を建設することになる。
9月にシェムリアップ州プオーク地区コムルー村に「私たちのスロラニユ小学校」が完成。
*ボランティア参加総数 279名/ボランティア参加延べ人数 734名
- 2013年** NPO 法人を取得して「NPO 法人スロラニユプロジェクト」となる。
7月コムルー村の村民を対象とした日本人救急救命士による救急救命講習を実施。
- 2014年** 2月、日本人歯科医師による歯科健診及びブラッシング指導を開始。
- 2017年** 2月、交野ロータリークラブ様のご支援により、スロラニユ小学校に図書館を建設。
10月、三木みどりロータリークラブ様のご協力により、当法人に関係するシェムリアップ州福祉局局長、孤児院センターセンター長、ワットポー小学校校長を含めた6名のカンボジア人が来日し、障がい児者支援事業所、特別支援学校等を視察。
- 2018年** 7月、約6000人の子ども達が通うカンボジア王国で最大規模のワットポー小学校にて校長の要望を受け、支援の必要な子ども達に対して特別支援教育を開始。
- 2022年** 10月から近藤正樹氏がカンボジア現地スタッフとして参加。

カンボジア現地スタッフ



近藤 正樹 (こんどう まさき)

【好きなアニメ】 鬼滅の刃・宇宙戦艦ヤマト

53歳まで海外渡航経験なし！

長年、日本の障害者就労支援に携わった専門性を活かしつつ、温和で誠実な性格から、誰からも愛されるスロラニユ現地スタッフ。

SAO PICH (サオ・ピッチ)

【愛称】 ピッチさん

【苦手なもの】 コーヒー※飲むと失神すること
現在も日本語ガイドとして活躍。プライベートでは、村の子ども達に無償で日本語を教えている心優しいカンボジア人。



NPO 法人スロラニユプロジェクトは、

カンボジア王国シェムリアップ州を拠点に当法人メンバーが日本で培った専門性を活かし、障がい児支援、救急救命講習、歯科支援、井戸建設活動に取り組んでいます。社会保障が不十分なカンボジアでかけがえのない子ども達の「命」に寄り添い、「生きる」を支援しています。

障がい児支援

生活・相談支援/訪問診療
障害児デイサービス(隔月)



カンボジアの医師ライセンスをもつ、喜多野医師と協力して医療支援に取り組んでいます。

スロラニユ小学校

小学校建設及び修繕等の継続支援/新入生への制服等寄贈
運動会(毎年1回)/特別授業(毎年2回)*幼児教育・歯科支援・絵画等



シェムリアップ孤児院センター

生活支援/救急救命講習/歯科支援/障害児支援スタッフの費用支援



ワットポー小学校

必要物品等寄贈/「障害理解」の啓発活動
障害児の関わり方へのアドバイス



シェムリアップ師範学校

「障害理解」の啓発活動
救急救命講習・歯科支援



井戸建設支援

オートチュン村
バンゴア村 ほか



カンボジアでも地域で障がいのある子どもを育てることには多くの課題があります。

重度に障がいのあるデザインを育てるいつも笑顔で頑張り屋さんのお母様。生きていくために自宅でお店を開くことにしましたが、デザインを見たお客から「ここでは買いたくない」と言われたそうです。



ご寄付の使い途の一例をご紹介します

3,000円あれば.....

衛生面への配慮や保護者の介護負担軽減のために、障害のある子どもに1か月分の紙おむつを支援することができます。



5,000円あれば.....

スロラニユ小学校に通う約17人の子ども達にノート4冊・ペン2本定規を支援することができます。



10,000円あれば.....

障害のある子ども達(約8人分)に栄養補助を目的とした豆乳を約1か月分提供することができます。



皆さまの思いやりをカンボジアに住む障害のある子どもたちへ

